



中条町長・名誉町民  
八幡八郎



新町制施行の頃の中条町議会 昭和31年頃

八幡八郎は明治32年（1899年）中条町（現胎内市）に生まれます。東京農業大学で学び、昭和30年（1955年）5月中条町長に当選、これ以後昭和31年の新中条町成立時・昭和35年選挙・昭和39年選挙のいずれも無投票で当選し、4期13年にわたり（昭和43年9月まで）町政を担当しました。

町長に就任した八幡は、各種団体会議を開催して協議を行い、「自由な声の交換所」として昭和30年6月に「中条町だより」を発行するなど、民主政治の完成を掲げました。また工場誘致と胎内川奥地森林資源の開発なども積極的に押し進め、昭和31年には第一コンクリート工場を町に誘致しました。在職中には新潟県町村会長全国町村会副会長税制調査会委員など幾多の要職も歴任されています。これら功績を称え昭和43年11月、初の中条町名誉町民となります。

町長の職を辞してからも町体育館の向上、スポーツ振興などに偉大な業績を挙げ、厚生大臣賞文部大臣賞を受けています。昭和50年には八幡八郎の銅像が中条町体育館前に建立されました。

平成8年（1996年）1月に逝去。享年97才。同年4月には「八幡八郎を追悼する会」が執り行われました。



奥胎内観光バス開通の様子 昭和40年  
（左）八幡八郎中条町長 （中央）伊藤黒川村長